

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227

広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781

<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>

平成15年1月(2003年) No. 445

<新年ご挨拶>

今年も元気で楽しく、そして明るく

会長 合原一夫

大阪ムービーサークル会員の皆様、明けましておめでとうございます。このところ世の中、デフレの波で不景気の話ばかり、そして増税や健康保険の3割負担化等の出費増の施策が報じられていて、気も減入りがちですが、こういう時代だからこそ、私たちは気分も新たに、明るく、元気でそして楽しく、といった気持ちで生きていかなければと思っております。幸いOMCは従来と変わらず、元気で楽しく充実した一年ではなかったかと自負しております。例会を始め、作品研究会、一泊二日撮影会、公開映写会などのOMC自主活動に加えて、外部団体への支援事業などもリーダー的役割のもとで活発に活動してまいりました。これもOMC伝統の、良い作品作り、公開映写会で皆さんに喜んで観て頂くことを一つの目標とし生き甲斐を感じておられる多くの会員諸氏の熱心な活動とご協力の賜物ではないかと感謝しております。今期も前年以上に充実した、元気で楽しい活動をしていきたいと念じております。

さて、前年度の活動において特筆すべきことは、ほとんどの方がノンリニア編集に転換されたことで、皆さんのご熱心ぶりには驚くばかりです。

また、阿倍野の例会場を大阪駅前第二ビルに移したことです。大阪の南を拠点にすえた大阪ビデオクラブ(OVC)と、北を活動拠点にする大阪ムービーサークル(OMC)の二大クラブが、それぞれの活動拠点で、お互い協力し合って大阪地区アマチュア映像会のリーダー的存在として、これからも活動していく所存です。今年も元気で、楽しく、どうぞよろしく願いいたします。

1月例会のお知らせ

1月例会は第4土曜日25日、午後6時より、大阪駅前第2ビル5階、大阪市立総合生涯学習センターで開催します。どうぞ作品をお持ちになってご出席ください。プロジェクターで大スクリーンに投影して上映します。テレビとは一味違う迫力ある映像が期待されます。今年初めての例会を楽しくやりましょう。

新年会総会 1月19日 (日曜)

をお忘れなく

前月のOMCニュース等で18日の日曜日としておりましたが、原稿ミスでしたので、正しくは19日の日曜日です。お詫びして訂正します。どうかお忘れなくご出席ください。まだ出欠の知らせを出していない方は急ぎ会長宛出してください。出席予定の方で止むなく欠席される場合は早めにご連絡ください。

■S-VHSデッキ競売のお知らせ

OMCの備品として持っているS-VHSデッキ(ピクチャー)は、これから使うこともないと思われるので欲しい方に競売(入札)でお譲りします。1月例会で申込みしてください。(会場のプロジェクターの付属品としてS-VHSデッキが使えます)

■第12回日本を縦断する映像発表は2月1日(土)13時より、阿倍野市民学習センター講堂にて。ぜひご来場ください。

■新入会者のご紹介

今月から下記の2名の方が入会されました。よろしく願いいたします。

入澤直樹さん 〒617-0827 長岡京市竹の台3 竹の台住宅C2棟103号 TEL & FAX 075-955-7071

西海実さん 〒577-0061 東大阪市森河内西2-36-17 TEL 06-6782-6016

12月作品研究会レポート

12月研究会は21日、初めての大阪駅前第2ビルの大阪市立生涯学習センターにて開催。プロジェクターによるスクリーンへの投影は、かつて8ミリフィルム時代の例会を思い出させました。迫力ある大映写はテレビ受像機とは一味違うものがあり、見易さは抜群。今までテレビ画面を後ろの方の席の人は人の頭越しに見ていたのと比べてゆったりとした席と共に満足のいくものがありました。問題として新たに発生したのは音の漏れの点で、換気のために扉にガラリが付けてあり、そのため室内の音が廊下へ漏れ、隣室へ迷惑がかかることでした。部屋を替えて今回は解決しましたが、今後も起こり得る基本的な課題です。古い建物を改装して使っているので設備の点で色々課題があるようですが、学習センター

の方も問題解決へ手を打つ筈です。しばらく様子を見ようということになりました。

■研究会出席者：増池、久一、進藤、奥、安居夫妻、有村、関、合原、河合、藤原、江村、上総、渡辺、前田の15氏(順不同)。

■上映作品

1. 祇園祭 増池 茂さん 7分45秒

前月例会で上映したテレシネ作品を指摘に従って修正された作品。祭が終わって片付けに入るところからBGMを変えられたのでぐっと良くなりました。

2. 晩秋の尾瀬 進藤信男さん 7分28秒

10月末の尾瀬、あいにくの小雨模様のお天気でしたが、翌日は晴れで霜が葉っぱに白くついた模様など寒さを感じさせる作品でした。雨が傘に反響する音の対応で指導も。

3. 夜の調べ 安居良枝さん 4分30秒

新装なった中央公会堂の夜のライティングを中心にまとめられた作品。曲にあわせて露出をピコピコ明暗させる手法について意見が多く出されました。しかし夜のムードはよく出てご努力の跡が見られました。

4. 昔を偲べば 安居利次さん 5分10秒

スチール写真で我が家の歴史を語る、といった作品。万博などテレビ画面はむしろ無い方が、といった意見が出されました。

5. DVDテスト作品

有村 博さん 10分

友人がDVDに変換して送ってくれたのでそのテストを兼ねて、という説明でDVDによる映写を行う。時代も変わったもので、将来はDVDが主流になるかも？

6. めでたく45周年

合原一夫さん 8分45秒

45年目の同窓会の記録。40分ものを短くしたもの。こういう記録ものを一般向けにどう再構成するかの話提供作。

7. 熊野古道霧の里

江村一郎さん 5分34秒

前月例会発表作を指摘によって再編集されたという作品。その分良くなりました。

8. 信濃錦秋02

河合源七郎さん 5分35秒

河合さんらしく、しっとりとした情感をもった作品でした。パナソニックカメラでの朱色の鮮やかな発色は印象的でした。

9. テレシネテスト作品

上総修一郎さん 3分

フィルム→DVD→DV 転換の作品披露。

12月例会レポート

12月例会は21日の午後6時より、昼間の作品研究会に引続き、例会場としては初めて梅田の大阪駅前第2ビル5階に新設された大阪市立生涯学習センター研修室にて開催されました。司会、合原さん、書記、有村さん、デッキ係に河合さん、江村さん、受付兼照明係を安居良枝さん、奥さんの担当で会を進行しました。

今回からプロジェクターによるスクリーンへの大映写とあって、デッキ係は初めての操作でとまどっておりましたが、ようやく操作のポイントを掴まれ、結果的には大きなトラブル無しに進行しました。

■出席者：有村、江村、岡本、奥、上総、河合、合原、関、進藤、華岡、藤原、前田、増池、松本、森口、森、森下、森田、安居夫妻、渡辺、片山、久一、山本の24氏と新入会の西海実、入澤直樹の2氏と計26氏。

■上映作品

(今月の記録と講評担当：有村世話役です)

1. 風と水のシンフォニー

西海実さん 6分00秒

今月から新しく入会された作者が名刺代わりに上映されました。1995年度のOMCと関西シネクラブとの合同映写会で上映された作品です。兵庫県三田市の公園にあった噴水をうまくとらえて姫神の曲に合わせて構成しておられます。8ミリビデオ時代の名作を再度見せて頂きました。

2. 秋二態

増池茂さん 9分30秒

前半は曇り空の京都、南禅寺界限、後半は大阪城を広範囲に紅葉取材されて構成しておられます。パナソニックのDJ100とキャノンのXV2カメラは同系のCCDで赤の発色がよく美しい画面に仕上がっています。OMCの先々代の会長さんから教わった教訓を書きます。①作品の始め(タイトルの後)と終わり(エンドマークの前)は必ずロング画角の少し長い目のカットを使用すること。特に終わり部分は余韻を残

す事が肝心。②紅葉は逆光或いは半逆光でアップを撮り、作品の中に挿入するとより印象的になる。です。私はこれを忠実に実行しています。研究してみてください。

3. 彫刻と花と

有村博さん 5分08秒

のっけからノイズだらけで見えておれませんでした。同じソニーのデッキDHR1000とカメラVX1000で、帰宅後再生を試みましたが何故ダメだったのか判りませんので困りました。完成品のDV CAMからDVにダビングしたもので、パソコンが悪いのか、単にこのテープが悪かったのか原因究明中です。作品中のハイビスカスの開花はVX1000のインターバルタイマーで1分間に1秒の撮影で作りました。

4. 蘇れ法善寺横町

安居良枝さん 6分45秒

大阪道頓堀中座跡で解体工事中に起こった火事による周辺の被害は、可成なものだったようです。作者はサッカーW杯の頃から南の繁華街の取材をしておられ、それらの映像が今回の作品にも大いに役立っているようです。中座の裏のこの横町の復興問題はいまの大阪での大きな話題です。インタビューを交えて克明に撮影され見事な作品に仕上がっています。ただ、ナレーションに合わせて場所があちこちに飛びます。地理の判らない大阪人以外の人たちに理解出来るかなーとちょっと心配しました。

5. わたし船

安居利次さん 6分50秒

大阪市内の渡船場を扱った作品の、去年についで第2作目です。大正区から港区にかけての渡しや大橋、川底トンネルなど精力的に取材され、インタビューを交えて構成しておられます。前作に比べて利用する人々の生活感がよく出ていてよかったですと思います。

6. 熊野 生きいき人生

合原一夫さん 13分11秒

熊野の中辺路町を訪ねて1日ばかりで3人の老人の趣味の世界を取材してこられました。老人達の自慢話を入れているとどうしても長くなる、と作者。見ている側もそう感じる所があった様です。特に最初の石を集める老人のくだりを思い切ってカット

して最後の人形の老人の所で山場を作り、8～9分でまとめられると良くなるのでは、とは2次会での集約でした。

7. 幻の花を追って

河合源七郎さん 12分53秒

中国の四川省に幻の花といわれる植物を探しに行かれた旅行記です。野鳥の観察と同じように野性の花の調査もマニアにとってはたまらない魅力のようです。特にバラに特別な思いを持っておられる作者の事ですから専門的な観察が次ぎ次ぎに紹介されます。途中有名な観光地、九寨溝がちょっとだけ出ますが、主題を損なわない程度で却ってこれが成功だったと司会者からのご指摘がありました。女性の解説で楽しく拝見しました。

8. 大山名水紀行「天の真名井」

森口 吉正さん 8分40秒

日本名水百選を追い掛けておられる作者。今回は中国地方の名峰大山のふところ。作者独特の流暢なナレーションと素晴らしい音楽によって美しい自然の景観が展開してゆきます。素晴らしい作品でした。それだけに欲を申し上げたいのですが、起承転結で言いますと、起は勿論、大山の朝日です。承が本宮の泉で、転が一番見せたい苔蒸した日本の原風景の水車と「天の真名井」と思います。前半と後半に2回出ましたこの部分を一つにまとめて最高の盛り上げを計ってほしいと思いました。そして結が秋景色の大山。今以上に素晴らしい作品になると思うのですが・・・。

9. 43時間バスの旅

山本 正夢さん 6分40秒

これは珍しい、中国タクラマカン砂漠を超えて1900キロ、3列上下2段ベッドのバスに乗って昼夜凡そ2日間の旅の記録です。作者が何で行かれたのか判りませんが、少なくとも現地の言葉が語れないと行けないでしょう。外国人は殆ど乗っていないそうです。オアシスに着くと食事です。食べるのはよいのですが、途中のトイレ、特に女性はどうするのでしょうか、とは2次会での話。故障した時には動かなくなったら代わりの車はと、つい思ってしまいます。兎に角初めて見せて頂いた異国の風景でした。

10. 輪廻

江村 一郎さん 5分00秒

荘重な音楽によってタイトルの解説がでます。波打ち際から信号待ちの都会の人々、大台が原の樹林、空を飛ぶトンビ、そして野仏、やがてお遍路が声明を唱える“南無大師遍照金剛”と。パソコンによる効果加わり、何とも言えない雰囲気漂わせていました。江村さん独特の世界なのでしょう。最後まで生物が生死を繰り返しているようには見えなかったのは、私が凡人だからでしょうか。

11. タイで寺巡り

森田 光春さん 7分50秒

いきなり若い美しい女性が大勢出てきて男性にとっては目の保養になりました。お寺の中のきらびやかな仏像や僧侶が次々に出てきます。7箇所の寺院を巡られたそうです。場所も名前も説明がないので判りません。映画やミュージカルがよく知られた音楽を使いますと見ている人々それぞれにイメージがありますから違和感が強くて損です。司会者も言われたように、音楽なら何でもよいという訳にはゆかないようです。

以上で会員さんの作品上映を終り、何時ものように喫茶店と居酒屋に別れて2次会を楽しみました。

■会員名簿が間違っていました。お詫びいたします。

①安居良枝さんが洩れていました。

②渡辺雄史さんのメールアドレス

正：at-wata@m4.kcn.ne.jp

③玉井さんの名前の文字：ㇿ(ひとし)が洩れていました。

④前田茂夫電話番号

正：072-850-5781

以上訂正をお願いします。

■今月のインターネット作品

森口吉正さん作品「大山名水紀行」です。例会でのアドバイスをを受けてタイトルと内容を一部修正されました。

■インターネット情報

ネット版ニュースをご覧ください。